

坂城町内遺跡発掘調査報告書2016

—平成28年度試掘・立会い調査報告書—

2017.3

坂城町教育委員会

例 言

- 1 本書は長野県埴科郡坂城町における開発事業に伴う、平成28年度の町内遺跡の試掘調査及び立会い調査の報告書である。
- 2 調査の費用は、国庫の補助金及び町費にて対応した。
- 3 調査の体制
担 当 者 青木 昌也（文化財センター所長）、時信 武史（坂城町教育委員会学芸員）
協 力 者 天田 澄子、萩野れい子、本間美麻（以上、町臨時職員）
- 4 事務局の構成
教 育 長 宮崎 義也
教 育 文 化 課 長 宮下 和久
文化財センター所長 青木 昌也（文化財係長兼務）
文 化 財 係 時信 武史
赤池 利博、天田 澄子、中沢あつみ、
萩野れい子、本間美麻（以上、町臨時職員）
- 5 本書の執筆・編集は時信が行った。
- 6 本書及び調査に関する資料は、坂城町教育委員会の責任下において保管されている。

凡 例

- 1 本文中の面積は、開発対象面積と調査面積を記載し、（ ）内に調査面積を記載した。
- 2 挿図の縮尺は、各図に縮尺を示した。
- 3 報告書抄録に記載された北緯・東経の座標値については、平成14年4月1日から施行された測量法改正に伴う、世界測地系に基づいた数値を記載した。

目 次

例 言

凡 例

第Ⅰ章 坂城町の遺跡の立地と環境	1
第1節 地理的環境	1
第2節 歴史的環境	1
第Ⅱ章 試掘調査の結果	6
1 上五明条里水田址24	6
2 開畝遺跡8	8
3 上五明条里水田址25	10
4 金井東遺跡群2	12
第Ⅲ章 立会い調査の結果	14
報告書抄録	

第 I 章 遺跡の立地と環境

第 1 節 地理的環境

坂城町は長野県の東信地方と北信地方の結節点に位置し、南は上田小県地域に接している。町の中央部を千曲川（信濃川）が日本海に向かって北流し、これに注ぎ込む河川によって形成された扇状地が散見される。千曲川左岸には北から岩井堂山、大林山（九竜山）、摺鉢山、三ツ頭山など800～1,100m級の山々が連なり、千曲市及び上田市との境を形成している。千曲川右岸には北から五里ヶ峯、鏡台山、鳩ヶ峯、大道山（堂叡山）、大峯山、太郎山、虚空蔵山など1,100～1,300m級の山々が千曲市及び上田市との境を形成している。南の上田市との境は鼠宿・下塩尻の岩鼻と下半過の岩鼻で狭隘な地形となっており、北の千曲市との境付近も幅が1.5kmほどしかなく、盆地地形を呈している。

扇状地が優位な地形であるので、かつては桑栽培がおこなわれ養蚕業が発達した。戦後になって、本州でも有数の降雨量の少ない気候を活かして、りんごやブドウの栽培に転換されている。現在では工業が町の主要産業になっており、約250社の企業が集積している。

第 2 節 歴史的環境

坂城町の各時代について、主要な遺跡に触れながら概説する。なお、遺跡名の後に附した番号は坂城町遺跡分布図の番号に対応している。

旧石器時代の遺構は確認されていないが、南条地区の保地遺跡（3-1）から採集された石器が上ヶ屋型彫刻器とされ、およそ14,000～15,000年前の後期旧石器時代のものと考えられている。また、坂城地区の込山D遺跡（30-4）で発見された尖頭器も旧石器時代のものと考えられている。

縄文早期の遺跡は、坂城地区の和平A遺跡（36-1）や平沢遺跡（35）が知られ、押型紋土器片が採集されているが詳細は不明である。前期の遺跡では、南条地区の町横尾遺跡（6）で当該期の住居址が発掘調査され、土器や石器がまとまって出土した。このほか、込山C遺跡（30-3）でも前期に属する土器片が出土しているが未報告である。中期になると込山遺跡群（30）をはじめ、南条の金井遺跡（2-1）など町内各所で土器片などが採集されている。特に込山C遺跡では昭和36年に、炭や灰に覆われた敷石の下から3点の土器が埋納された状態で発見された。この敷石遺構は火をたいた痕跡や依存した獣骨及び石器の存在から特殊な遺構であったことが考えられている。後期・晩期では保地遺跡が卓越している。保地遺跡は昭和40年と平成11年度に発掘調査が行われた。昭和40年の発掘調査では、下顎2本の犬歯を抜歯した成人男性の完全な頭骨のみが、鹿、猪、犬等の獣骨や多くの土器・石器と共に存在したことから、特殊な人物の特殊な儀礼的行為の存在が推測された。平成11年度に行われた発掘調査では、縄文時代後期・晩期における多様な埋葬状況が確認された。

弥生時代前期の調査例はない。中期では込山D遺跡で当該期の住居址が発掘調査されたが、出土品の点数が少なく詳細は不明である。後期になると、平成5年度に発掘調査された南条地区の塚田遺跡（1-7）が挙げられる。この調査では弥生時代後期に属する竪穴住居址が36棟も検出され、内部からは多くの土器が出土した。このほか、石包丁の制作過程が復元できる未製品や、鉄斧が出土したことから、稲作を主な生業とする集団が居住していたことが推察される。

現在のところ、前期に属する古墳は確認されていない。込山D遺跡や大木久保遺跡（3-3）では古墳時

代前期に属する住居址が発掘調査された。中期に属する古墳は上信越自動車道建設に先立って平成5年に行われた発掘調査で確認され、埴輪や土器などの出土品から5世紀中ごろと判断された。木棺直葬の小規模な古墳である。周知の御堂川古墳群東平支群（18）と距離が離れているため、「仮称東平1号墳・2号墳」とされている。後期になると、町内各所で群集墓が営まれるようになり、御堂川古墳群（14・16・17・18・19）、谷川古墳群（10）、出浦沢古墳群（45）などをあげることができる。いずれも緩やかな傾斜地に展開する典型的な後期～終末期にかけての群集墳である。福沢古墳群（47）に含まれる御厨社古墳（47-1）は千曲川流域最大級の横穴式石室で、全長11.2mを測る。勾玉や切子玉、金環が採集されている。古墳時代後期の集落址は町内各所で確認されている。特筆されるのは南条地区の青木下遺跡（1-8）で発掘調査された、土器を環状に配置した祭祀遺構である。

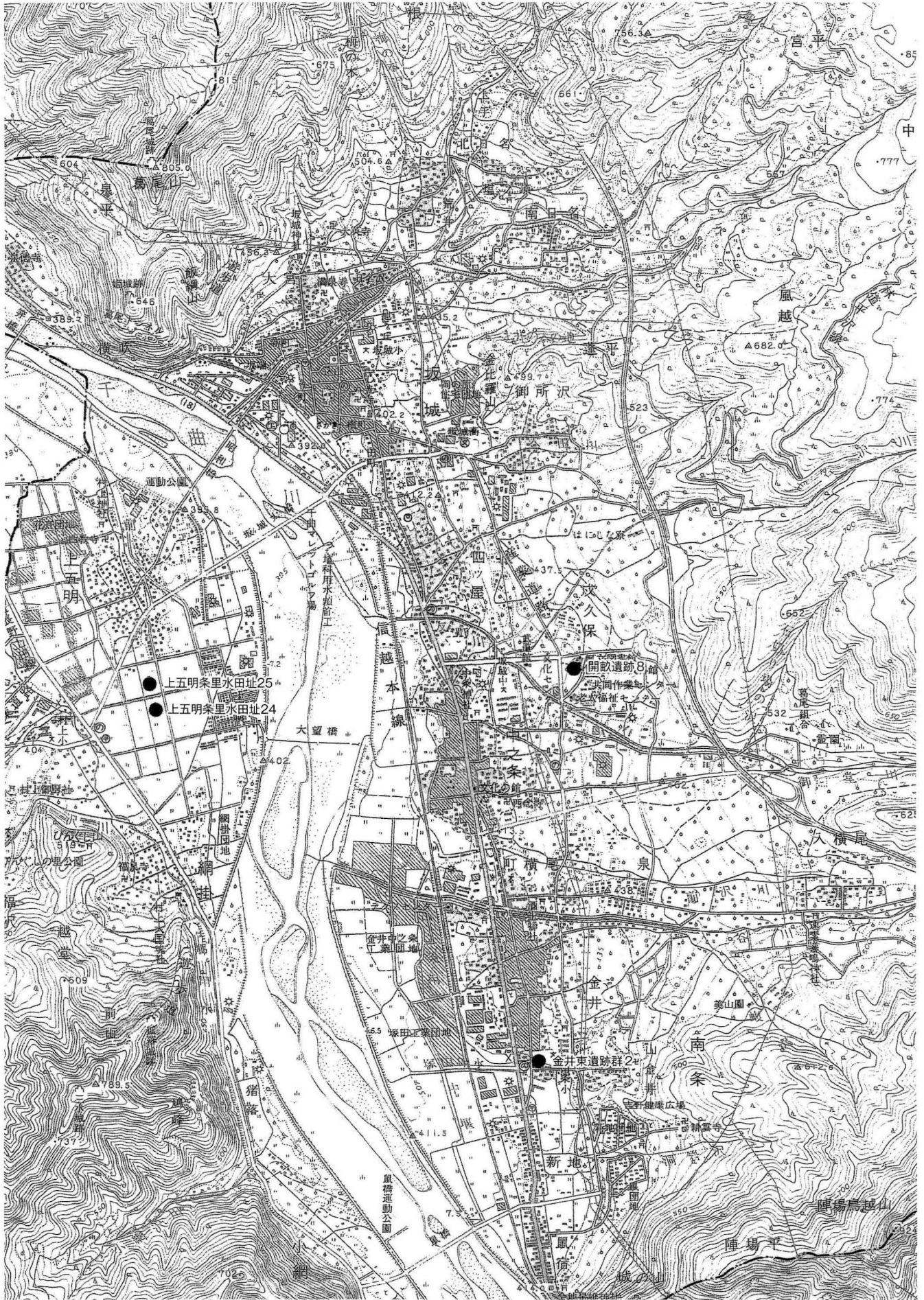
古代にはいと、中之条地区で数多くの住居址が確認されている。特に寺浦遺跡（8-1）では、掘立柱建物が濃密に分布しており、地域の中心的な役割を担う施設が存在していたことが考えられる。込山廃寺跡（54）は、平安時代初頭に現在の坂城小学校の場所に建立された礎石建て瓦葺の寺院である。この寺の瓦を焼いたのが土井ノ入窯跡（32）で、上田市の信濃国分寺・尼寺及び千曲市の正法廃寺で補修時に使われた瓦もここで焼かれたものであることが指摘されている。信濃村上氏の祖である源盛清が寛治8年（嘉保元）（1094）年に村上地区に配流の後、子孫は土着して有力豪族として成長していった。このころ居住したのが島遺跡（46）に内包される村上氏館跡（80）である。元中年間に坂城地区に葛尾城（44）を築いて移転したと伝わるが詳細は定かではない。葛尾城は堅固な城郭で、居館の村上氏館跡（38）はふもとの現在の満泉寺の場所に築かれた。観音平経塚（55）は、14世紀中ごろから16世紀前半頃まで営まれた墳墓及び五輪塔群である。終期が16世紀前半ごろであることを考えると、村上氏と消長を同じくしたものとも思われる。中之条地区の開畝製鉄遺跡（53）は昭和52・53年に発掘調査が行われ、2基の製鉄炉址が確認された。

江戸時代になると、幕府によって北国街道（90）が整備され、坂木村に宿場が形成された。宿場をはじめ街道筋の村々の多くは大名領地を経た後幕府領となり、坂木に代官所（61）がおかれた。中野陣屋等の出張陣屋となった後の明和4年（1767）に焼失し、安永7年（1778）に中之条村に代官所（67）が再びおかれた。慶応4年（1868）に明治新政府により廃止され、尾張藩の取締役所となり、同年伊那県中之条局となる。

以上が近代にいたるまでの坂城町の歴史の概要である。

参考文献（五十音順・敬称略）

- （財）長野県埋蔵文化財センター 2011『主要地方道長野上田線力石バイパス建設事業 埋蔵文化財発掘調査報告書2』—坂城町内—上五明条里水田址
坂城町教育委員 1978『開畝製鉄遺跡—第1次調査報告』 1979『開畝製鉄遺跡—第2次調査報告』 1996『寺浦遺跡Ⅱ』 2001『宮上遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』 2002『保地遺跡Ⅱ』 2007『込山D遺跡』 2008『開畝遺跡Ⅳ』 2008『町横尾遺跡Ⅱ』 2009『上町遺跡Ⅳ・Ⅴ』 2010『寺浦遺跡Ⅳ』
- 森嶋 稔ほか 1981『坂城町誌』中巻 歴史編（一）
- 柳沢 亮 1998「第5節 開畝遺跡」『北陸新幹線埋蔵文化財発掘調査報告書2』（財）長野県埋蔵文化財センター
- 若林 卓 1999「第9章 東平古墳群」「第11章 観音平経塚」『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書21』（財）長野県埋蔵文化財センター



試掘調査位置図 (1 : 25,000)



坂城町遺跡分布図

図面番号	遺跡名	種別	時代
1	南条遺跡群	集落址	弥生～平安
—1	南条遺跡群 東裏遺跡	集落址	弥生～平安
—2	南条遺跡群 御殿裏遺跡(原宿)	集落址	弥生～平安
—3	南条遺跡群 百々目利遺跡	集落址	弥生～平安
—4	南条遺跡群 中町遺跡(新地)	集落址	弥生～平安
—5	南条遺跡群 田町遺跡	集落址	弥生～平安
—6	南条遺跡群 廻り目遺跡	集落址	弥生～平安
—7	南条遺跡群 塚田遺跡(田端)	集落址	弥生～平安
—8	南条遺跡群 青木下遺跡	水田址、祭祀跡	弥生～平安
2	金井西遺跡群	集落址	縄文～平安
—1	金井西遺跡群 金井遺跡	集落址	縄文～平安
—2	金井西遺跡群 社宮神遺跡(金井西)	集落址	縄文～平安
—3	金井西遺跡群 並木下遺跡	集落址	縄文～平安
3	金井東遺跡群	集落址	縄文～平安
—1	金井東遺跡群 保地遺跡	集落址	縄文～平安
—2	金井東遺跡群 山井遺跡	集落址	縄文～平安
—3	金井東遺跡群 大木久保遺跡(南条小学校敷地)	集落址	縄文～平安
—4	金井東遺跡群 酒玉遺跡	集落址	縄文～平安
4	栗ヶ谷古墳	古墳	古墳(後期)
5	社宮神経塚	経塚	中世
6	町横尾遺跡	散布地	縄文～平安
7	北畑古墳	古墳	古墳(後期)
8	中之条遺跡群	集落址	縄文～平安
—1	中之条遺跡群 寺浦遺跡	集落址	縄文～平安
—2	中之条遺跡群 上町遺跡	集落址	弥生～平安
—3	中之条遺跡群 東町遺跡	集落址	弥生～平安
—4	中之条遺跡群 北浦遺跡	集落址	縄文～平安
—5	中之条遺跡群 宮上遺跡	集落址	縄文～平安
—6	中之条遺跡群 北川原遺跡	集落址	縄文～平安
9	南条塚穴古墳(塚穴古墳)	古墳	古墳(後期)
10	谷川古墳群	古墳	古墳(後期)
—1	谷川古墳群 入横尾支群 向田古墳	古墳	古墳(後期)
—2	谷川古墳群 入横尾支群 刈塚古墳	古墳	古墳(後期)
11	入横尾遺跡	散布地	平安
12	谷川古墳群 上原支群	古墳	古墳(後期)
13	前原墳墓群	墳墓	中世～近世
14	御堂川古墳群 山口支群	古墳	古墳(後期)
15	山崎遺跡	散布地	縄文
16	御堂川古墳群 山崎支群	古墳	古墳(後期)
17	御堂川古墳群 前山支群	古墳	古墳(後期)
—1	御堂川古墳群 前山1号墳	古墳	古墳(後期)
—2	御堂川古墳群 前山2号墳	古墳	古墳(後期)
—3	御堂川古墳群 前山3号墳	古墳	古墳(後期)
—4	御堂川古墳群 前山4号墳	古墳	古墳(後期)
—5	御堂川古墳群 前山5号墳	古墳	古墳(後期)
—6	御堂川古墳群 前山6号墳	古墳	古墳(後期)
—7	御堂川古墳群 前山7号墳	古墳	古墳(後期)
—8	御堂川古墳群 前山8号墳	古墳	古墳(後期)
—9	御堂川古墳群 前山9号墳	古墳	古墳(後期)
—10	御堂川古墳群 前山10号墳	古墳	古墳(後期)
—11	御堂川古墳群 前山11号墳	古墳	古墳(後期)
—12	御堂川古墳群 前山12号墳	古墳	古墳(後期)
—13	御堂川古墳群 前山13号墳	古墳	古墳(後期)
—14	御堂川古墳群 前山14号墳	古墳	古墳(後期)
18	御堂川古墳群 東平支群 二塚古墳	古墳	古墳(後期)
19	御堂川古墳群 山田支群	古墳	古墳(後期)
20	豊鶴堂遺跡(山崎北遺跡)	集落址	縄文～弥生
21	開飲遺跡	集落	弥生～平安
22	人塚古墳	古墳	古墳(後期)
23	四ツ屋遺跡群	集落址	縄文～平安
24	成久保遺跡	集落址	古墳～平安
25	入田遺跡	散布地	奈良～平安
26	塚内古墳(御所沢古墳)	古墳	古墳(後期)
27	金比羅山遺跡	散布地	縄文～平安
28	蓬平経塚	経塚	中世
29	岡の原竈跡	竈跡	平安
30	込山遺跡群	集落址	縄文～平安
—1	込山遺跡群 込山A遺跡(水上)	集落址	縄文～平安
—2	込山遺跡群 込山B遺跡(社宮神)	集落址	縄文～平安
—3	込山遺跡群 込山C遺跡(込山)	集落址	縄文～平安
—4	込山遺跡群 込山D遺跡(横町)	集落址	縄文～平安
—5	込山遺跡群 込山E遺跡(立町)	集落址	縄文～平安
31	日名沢遺跡群	集落址	弥生～平安
—1	日名沢遺跡群 日名沢遺跡	集落址	弥生～平安
—2	日名沢遺跡群 丸山遺跡	集落址	弥生～平安
32	土井ノ入竈跡	竈跡	奈良～平安
33	平林遺跡	散布地	縄文

図面番号	遺跡名	種別	時代
34	垣外竈跡	竈跡	平安
35	平沢遺跡	散布地	縄文
36	和平遺跡群	集落址、散布地	縄文～平安
—1	和平遺跡群 和平A遺跡	集落址	縄文～平安
—2	和平遺跡群 和平B遺跡	散布地	弥生
—3	和平遺跡群 和平C遺跡	散布地	平安
37	金比羅山古墳	古墳	古墳(後期)
38	村上氏館跡	城館跡	中世
39	馬の背遺跡	散布地	縄文
40	北日名経塚	経塚	中世
41	北日名塚穴古墳群	古墳	古墳(後期)
—1	北日名塚穴1号墳	古墳	古墳(後期)
—2	北日名塚穴2号墳	古墳	古墳(後期)
42	梅ノ木遺跡	散布地	縄文
43	栗田竈跡	竈跡	奈良
44	葛尾城跡	城館跡	中世
45	出浦沢古墳群	古墳	古墳(後期)
—1	出浦沢古墳群 出浦支群1号墳	古墳	古墳(後期)
—2	出浦沢古墳群 出浦支群2号墳	古墳	古墳(後期)
—3	出浦沢古墳群 出浦支群3号墳	古墳	古墳(後期)
—4	出浦沢古墳群 出浦支群4号墳	古墳	古墳(後期)
—5	出浦沢古墳群 出浦支群5号墳	古墳	古墳(後期)
—6	出浦沢古墳群 島支群1号墳	古墳	古墳(後期)
—7	出浦沢古墳群 島支群2号墳	古墳	古墳(後期)
46	島遺跡	集落址	弥生～平安
47	福沢古墳群	古墳	古墳(後期)
—1	福沢古墳群 小野沢支群1号墳(御厨社古墳)	古墳	古墳(後期)
—2	福沢古墳群 小野沢支群2号墳	古墳	古墳(後期)
—3	福沢古墳群 小野沢支群3号墳(ヤックラ古墳)	古墳	古墳(後期)
—4	福沢古墳群 小野沢支群4号墳	古墳	古墳(後期)
48	小野沢遺跡	集落址	弥生～平安
49	福沢古墳群 越堂支群	古墳	古墳(後期)
50	福泉寺裏古墳	古墳	古墳(後期)
51	狐落城跡	城館跡	中世
52	三水城跡	城館跡	中世
53	開飲製鉄遺跡	製鉄跡	中世
54	込山廃寺跡	寺院跡	平安
55	観音平経塚	経塚	中世
56	栗田小銀治跡	製鉄跡	中世
57	塩の原遺跡	集落址	奈良～平安
58	南日名遺跡	集落址	弥生～平安
59	葛尾城根小屋跡	城館跡	中世
60	姫城跡	城館跡	中世
61	坂木代官所跡	屋敷跡	近世
62	田町遺跡群	散布地	古墳～平安
63	御所沢墳墓群	墳墓	中世
64	雷平竈跡	竈跡	平安
65	中之条石切場跡	採掘跡	近世
66	砥沢古墳	古墳	古墳(後期)
67	中之条代官所跡	屋敷跡	近世
68	虹峯竈跡	竈跡	平安
69	観音坂城跡	城館跡	中世
70	南鯉の川遺跡(吉祥寺跡)	散布地寺院跡	奈良～中世
71	口留番所跡	屋敷跡	近世
72	和合城跡	城館跡	中世
73	高ツヤ城跡	城館跡	中世
74	虚空蔵山城跡	城館跡	中世
75	地獄沢黄鉄鉱採掘跡	採掘跡	近世
76	籬岩遺跡	散布地	平安
77	出浦城跡	城館跡	中世
78	上五明条里水田址	水田址	平安～近世
79	出浦遺跡	集落址	縄文～平安
80	村上氏館跡	城館跡	中世
81	福沢氏居館跡	城館跡	中世
82	小野沢竈跡	竈跡	奈良～平安
83	福沢古墳群	古墳	古墳(後期)
—1	福沢古墳群 五狭支群1号墳	古墳	古墳(後期)
—2	福沢古墳群 五狭支群2号墳	古墳	古墳(後期)
—3	福沢古墳群 五狭支群3号墳	古墳	古墳(後期)
84	荒宿遺跡	集落址	縄文～平安
85	網掛原遺跡	集落址	縄文～平安
86	祭祀跡	祭祀跡	平安
87	島黄銅鉱採掘跡	採掘跡	近代
88	島マンガン鉱採掘跡	採掘跡	近代
89	上平黄銅鉱採掘跡	採掘跡	近代
90	横吹北国街道跡	街道跡	近世

第Ⅱ章 試掘調査の結果

1 かみ ごみょうじょうり すいでん し 上五明 条里水田址24

所在地 坂城町大字網掛337-4他

事業主体 株式会社塩沢産業

事業名 砂利採取事業

調査期間 平成28年4月13・14日

面積 3,521㎡ (266㎡)

担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

上五明条里水田址は、坂城町の千曲川左岸の網掛、上五明、上平に所在する千曲川沖積地に所在する遺跡で、「坂城町遺跡分布図」によると平安時代～中世にかけての条里水田址に位置付けられている。しかし、近年の試掘調査及び発掘調査によって、上五明地区、上平地区には古代の集落址も検出され、生産遺跡といった性格以外に集落址も存在していることが判明している。

今回、株式会社塩沢産業によって砂利採取事業が計画されたため、遺跡の状況を確認するため試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

今回の調査地点は、千曲川旧流路と考えられる、周辺よりやや標高の低い場所であった。

試掘調査の結果、地表下約0.7mで千曲川本流の砂利層が検出された。土層断面の観察や、遺物が出土しなかったことから、当該地には遺構は存在していないものと判断した。



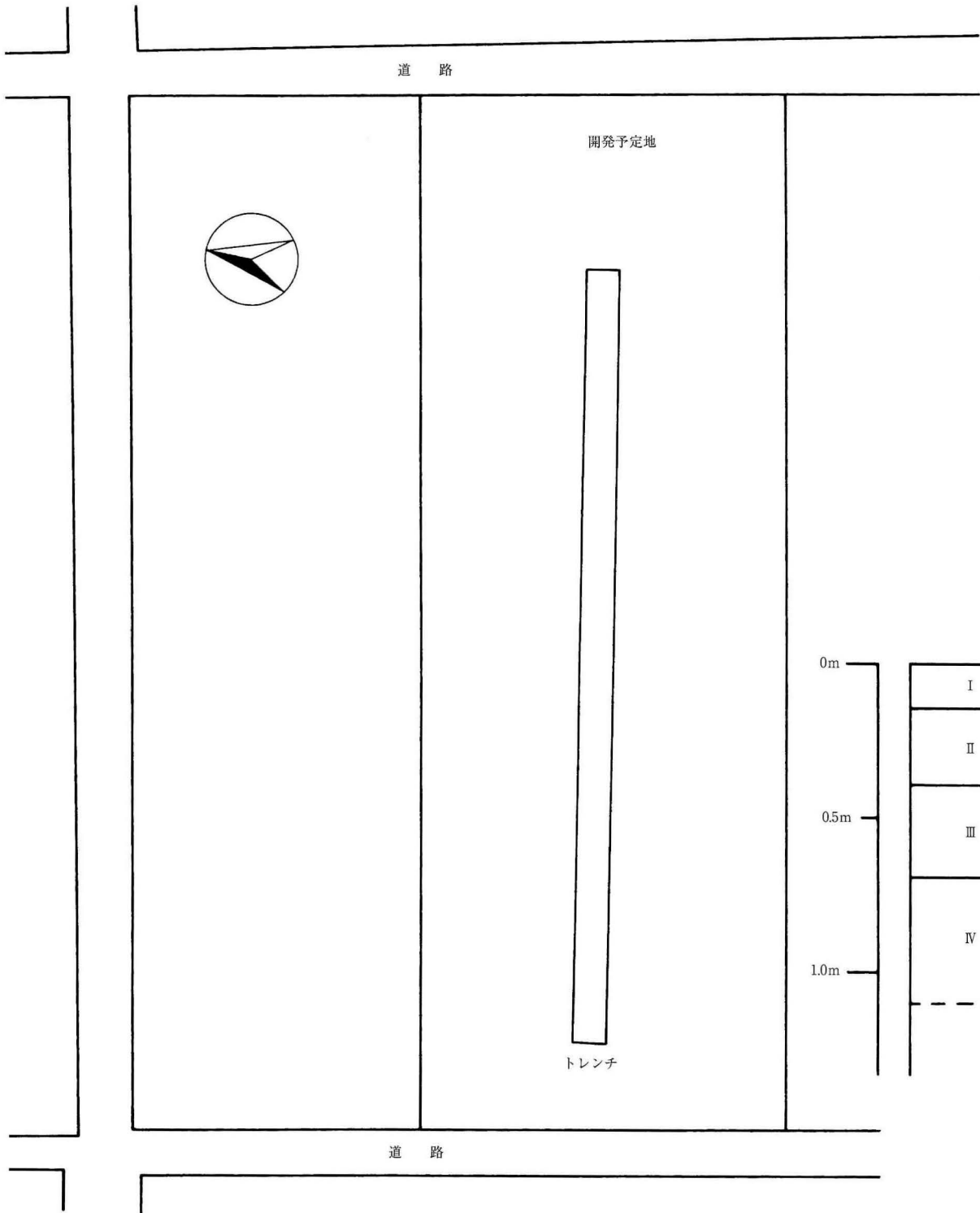
試掘調査位置図 (1 : 2500)



トレンチ掘削状況 (西より)



トレンチ完掘状況 (東より)



- I層 褐灰色土 (10YR5/1) 粘質土、水田耕作層
- II層 明黄褐色土 (10YR6/6) 粘質土、水田床土層
- III層 にぶい黄褐色土 (10YR5/4) 粘質土、堆積層
- IV層 褐灰色土 (10YR5/1) 砂利、堆積層

基本層序模式図

試掘トレンチ設定図 (1 : 600)

2 かいぜいせき 開畝遺跡 8

所在地 坂城町大字中之条2441-1
事業主体 坂城町土地開発公社
事業名 駐車場造成事業
調査期間 平成28年8月8日～10日
面積 2,153㎡ (235㎡)
担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

開畝遺跡は、坂城町大字中之条に所在する弥生時代から平安時代にかけての集落址である。これまでも数次にわたって本発掘・試掘調査が実施されたが、場所によって遺跡の様相が大きく異なっている。

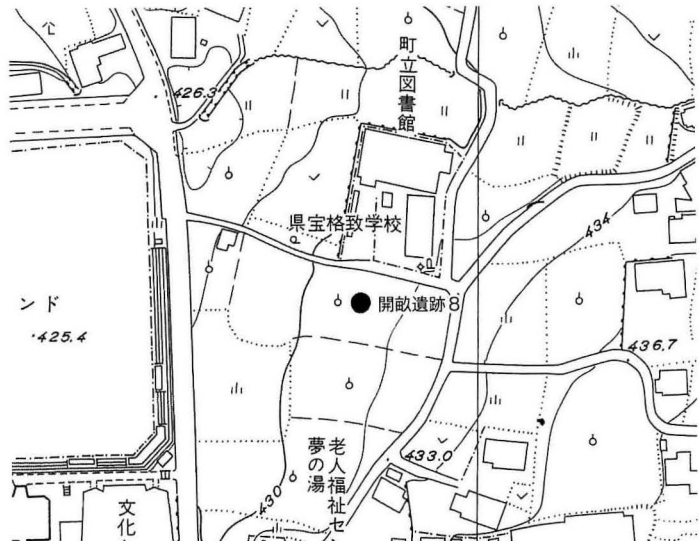
今回、坂城町土地開発公社による駐車場造成事業が計画され、遺跡の状況を確認するために試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

今回の計画地は、名沢川及び御堂川の形成する扇状地に位置している。開発予定地にトレンチを2か所設定し、遺構の有無を確認した。

1号トレンチでは、地表下約0.7mの所で土坑址を検出した。

遺跡は盛土保存することとして調査を終了した。



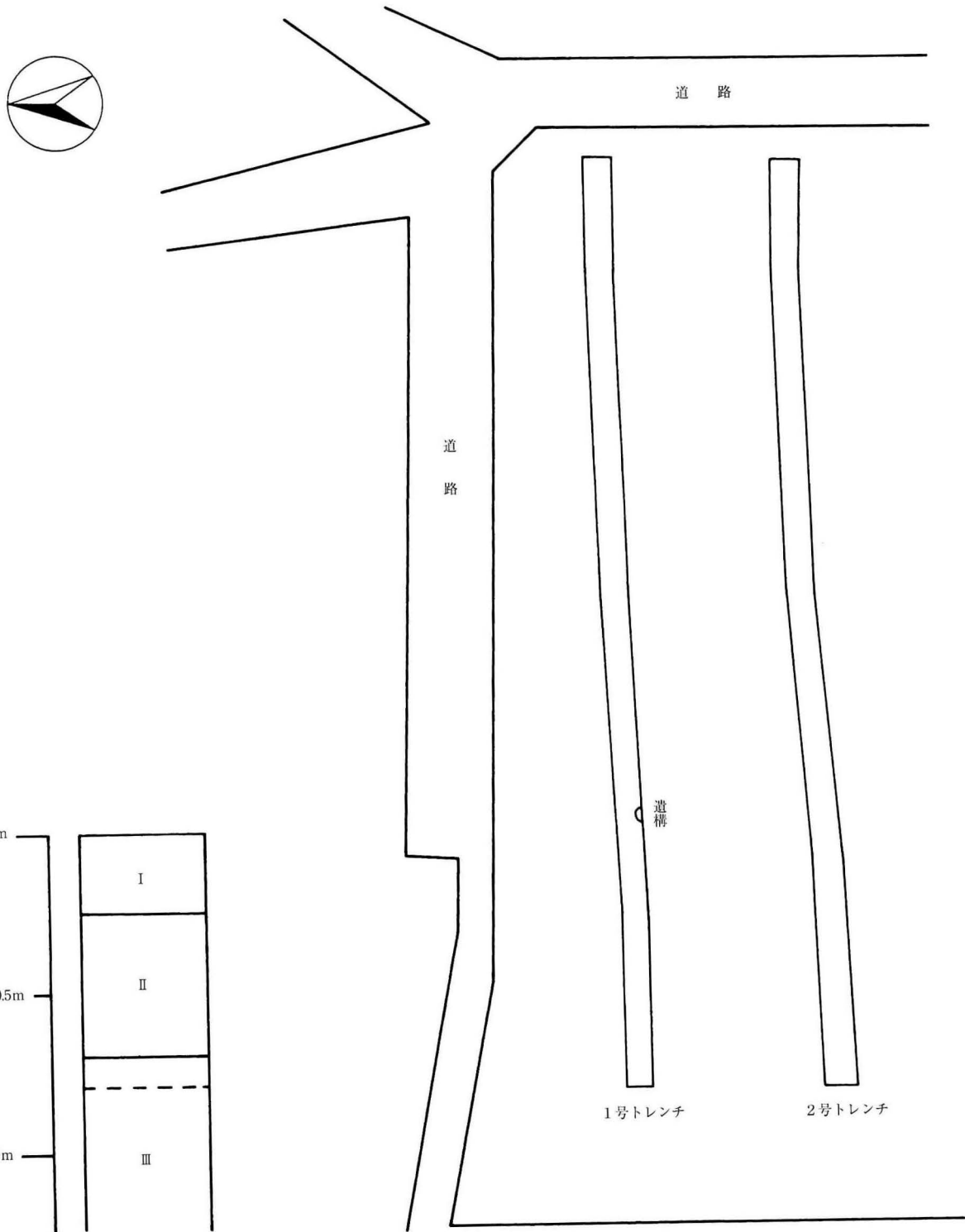
試掘調査位置図 (1 : 2500)



1号トレンチ完掘状況 (東より)



2号トレンチ完掘状況 (西より)



1号トレンチ土層説明

- I層 暗褐色 (10YR3/3) 粘質土、畑耕作層
- II層 黒褐色土 (10YR3/1) 粘質土、攪拌された堆積層
- III層 黄褐色土 (10YR5/6) 砂礫層、地山層

基本層序模式図

試掘トレンチ設定図 (1 : 400)

3 上五明 条里水田址25

かみ ごみようじょうり すいでん し

所在地 坂城町大字上五明805他
事業主体 株式会社塩沢産業
事業名 砂利採取事業
調査期間 平成29年1月24・25日
面積 3,521㎡ (237㎡)
担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

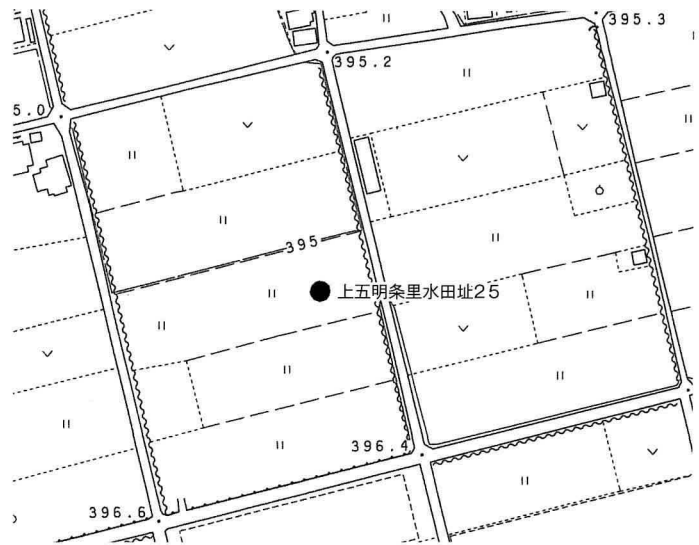
上五明条里水田址は、坂城町の千曲川左岸の網掛、上五明、上平に所在する千曲川沖積地に所在する遺跡で、「坂城町遺跡分布図」によると平安時代～中世にかけての条里水田址に位置付けられている。しかし、近年の試掘調査及び発掘調査によって、上五明地区、上平地区には古代の集落址も検出され、生産遺跡といった性格以外に集落址も存在していることが判明している。

今回、株式会社塩沢産業によって砂利採取事業が計画されたため、遺跡の状況を確認するため試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

今回の調査地点は、千曲川旧流路と考えられる、周辺よりやや標高の低い場所であった。

試掘調査の結果、地表下約0.4～1.7mで千曲川本流の砂利層が検出された。土層断面の観察や、遺物が出土しなかったことから、当該地には遺構は存在していないものと判断した。



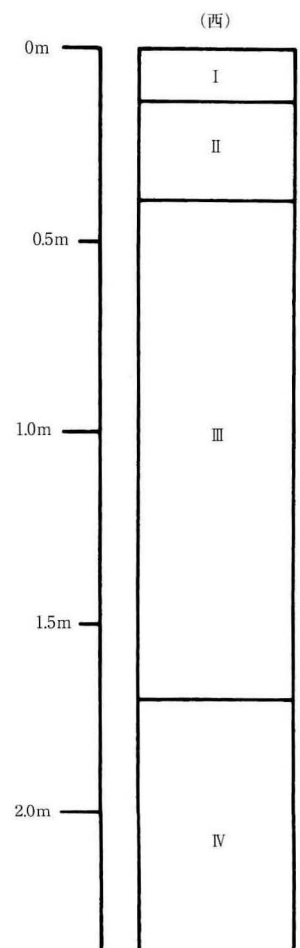
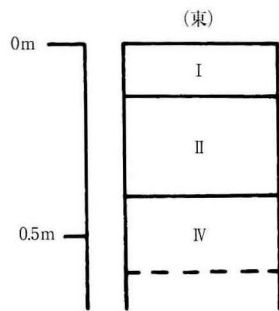
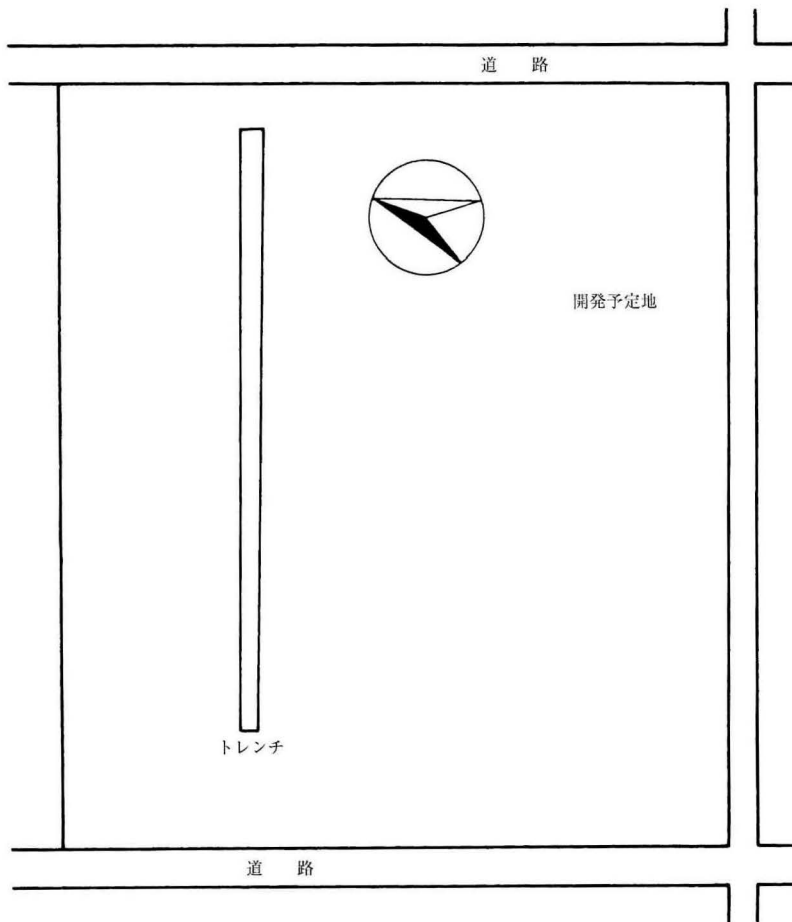
試掘調査位置図 (1 : 2500)



トレンチ完掘状況 (東より)



トレンチ完掘状況 (南東より)



- I層 褐灰色土 (10YR5/1) 粘質土、水田耕作層
- II層 明黄褐色土 (10YR6/6) 粘質土、水田床土層
- III層 灰黄褐色土 (10YR5/3) 砂質土、堆積層
- IV層 黒褐色土 (10YR3/2) 砂利、堆積層

基本層序模式図

試掘トレンチ設定図 (1 : 1000)

4 かな いひがしい せきぐん 金井東遺跡群 2

所在地 坂城町大字南条2087

事業主体 坂城町

事業名 児童館建設事業

調査期間 平成29年 1月26日・27日

面積 328㎡ (48㎡)

担当者 時信 武史

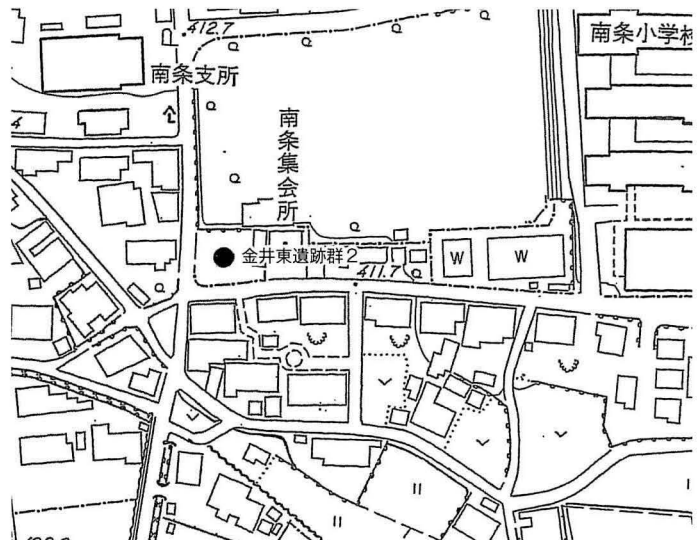
遺跡の環境と調査にいたる経緯

金井東遺跡群は、坂城町大字南条に所在し、西に流下する谷川によって形成された扇状地上に位置している。本金井東遺跡群には、大木久保遺跡、保地遺跡、山金井遺跡、酒玉遺跡がある。保地遺跡では昭和40年と平成11年度に発掘調査が実施され、中でも平成11年度に実施された調査では、縄文時代後期に属する墓址が遺存状態の良い人骨を伴って検出された。

調査の成果

今回の計画地は、西方向に流下する谷川左岸の扇端付近に位置している。試掘トレンチを1ヶ所設定し、遺構の有無を確認した。

試掘調査の結果、地表下約0.8mで地山層を検出した。当該地で遺構は検出されなかったが、周辺の調査経過から計画地内に遺構が存在することを否定できないことから、児童館建設事業では地山面までの間に保護層を設けることとした。



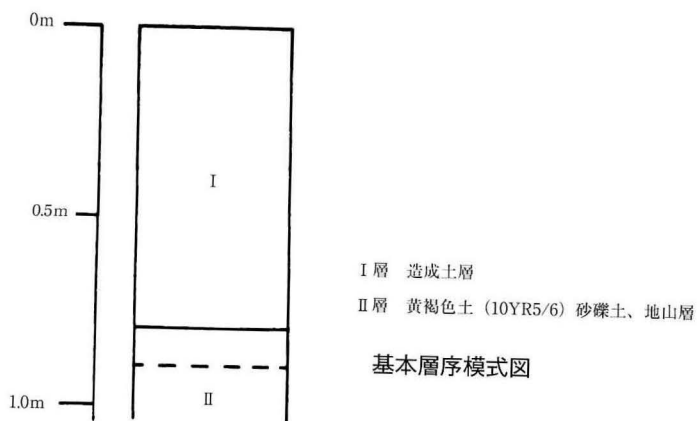
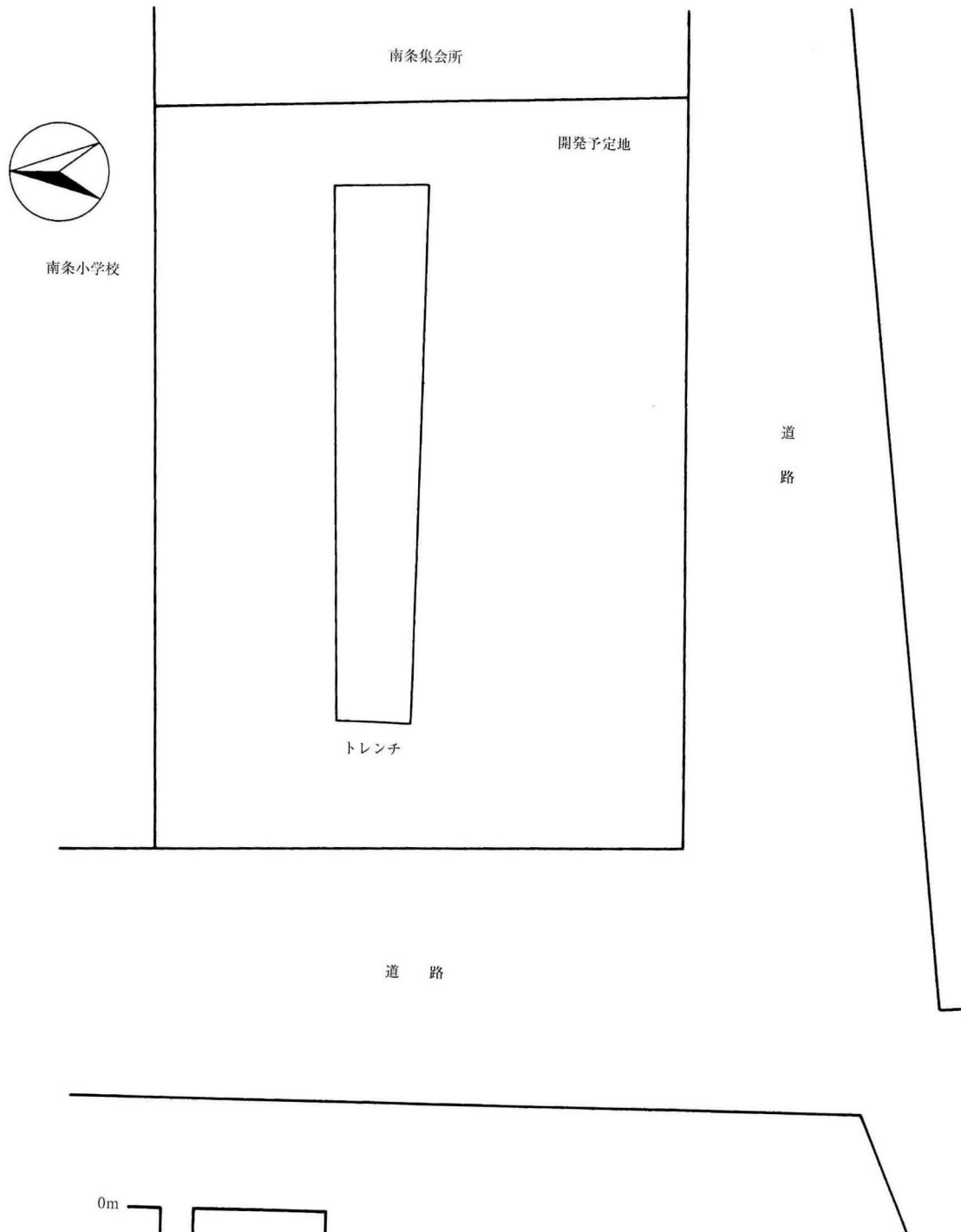
試掘調査位置図 (1 : 2500)



トレンチ完掘状況 (東より)



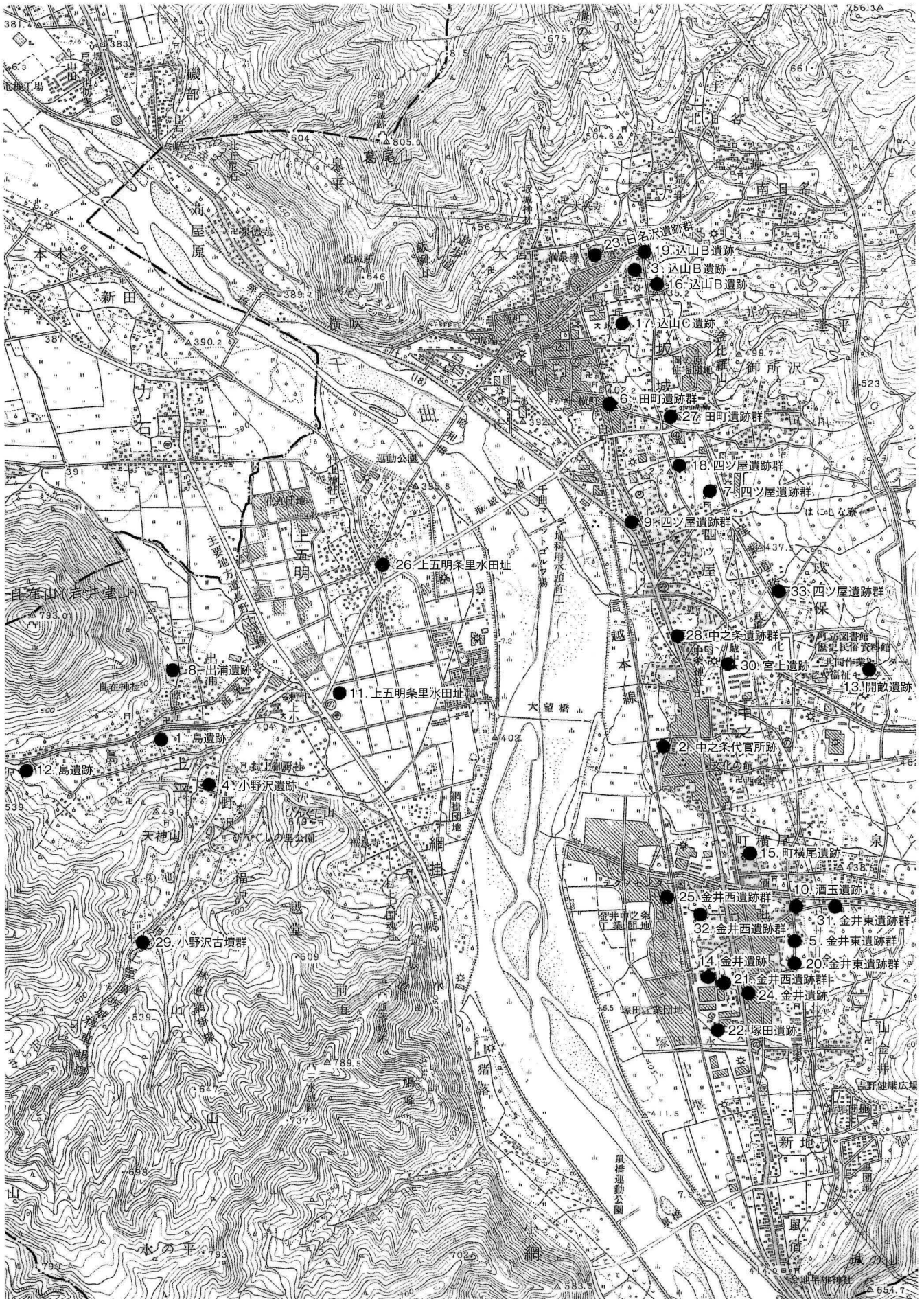
トレンチ完掘状況 (南東より)



試掘トレンチ設定図 (1 : 200)

第Ⅲ章 立会い調査の結果

No.	遺跡名	開発主体者	所在地	開発事業名	開発面積 (㎡)	調査期間
1	島遺跡	個人	村上	個人住宅建設	194	H28年4月15日～ H28年8月8日
2	中之条代官所跡	個人	中之条	個人住宅建設	59	H28年4月26日～ H28年7月30日
3	込山B遺跡	個人	坂城	個人住宅建設	509	H28年6月10日～ H28年9月20日
4	小野沢遺跡	個人	村上	個人住宅建設	196	H28年6月1日～ H28年9月30日
5	金井東遺跡群	坂城町建設課	南条	下水管理設	336	H28年5月23日～ H28年9月30日
6	田町遺跡群	坂城町建設課	坂城	遊歩道新設	100	H28年4月25日～ H28年8月31日
7	四ツ屋遺跡群	個人	坂城	個人住宅建設	295	H28年6月13日～ H28年11月13日
8	出浦遺跡	個人	村上	個人住宅建設	214	H28年7月9日～ H28年11月27日
9	四ツ屋遺跡群	株式会社セブンイレブン ジャパン	坂城	店舗建設	2,175	H28年6月20日～ H28年8月25日
10	酒玉遺跡	個人	南条	個人住宅建設	569	H28年8月17日～ H28年10月16日
11	上五明条里水田址	個人	村上	個人住宅建設	265	H28年5月18日～ H28年9月18日
12	島遺跡	上田水道管理事務所	村上	配水管理設	48	H28年7月1日～ H28年11月30日
13	開畝遺跡	個人	中之条	個人住宅建設	410	H28年7月15日～ H28年10月31日
14	金井遺跡	日精樹脂株式会社	南条	倉庫建設	1,041	H28年8月1日～ H28年10月31日
15	町横尾遺跡	個人	中之条	個人住宅建設	297	H28年6月14日～ H28年11月20日
16	込山B遺跡	個人	坂城	個人住宅建設	233	H28年8月9日～ H28年11月30日
17	込山C遺跡	個人	坂城	個人住宅建設	363	H28年8月9日～ H28年11月30日
18	四ツ屋遺跡群	個人	坂城	個人住宅建設	280	H28年8月29日～ H29年1月28日
19	込山B遺跡	上田水道管理事務所	坂城	配水管理設	11	H28年7月4日～ H28年9月30日
20	金井東遺跡群	上田水道管理事務所	南条	配水管理設	35	H28年7月4日～ H28年9月30日
21	金井西遺跡群	坂城町建設課	南条	下水管理設	258	H28年7月25日～ H29年2月28日
22	塚田遺跡	坂城町建設課	南条	下水管理設	200	H28年7月25日～ H29年2月28日
23	日名沢遺跡群	個人	坂城	個人住宅建設	349	H28年9月12日～ H29年2月28日
24	金井遺跡	個人	南条	個人住宅建設	275	H28年8月1日～ H28年11月30日
25	金井西遺跡群	株式会社青木固研究所	南条	倉庫建設	29,110	H28年9月25日～ H28年11月30日
26	上五明条里水田址	個人	村上	個人住宅建設	661	H28年9月12日～ H29年2月19日
27	田町遺跡群	長野県	坂城	体育館除却	1,169	H28年9月1日～ H28年12月31日
28	中之条遺跡群	長野国道事務所	中之条	排水路設置	1,000	H28年8月17日～ H29年2月25日
29	小野沢古墳群	坂城町建設課	村上	道路新設	686	H28年9月5日～ H29年3月31日
30	宮上遺跡	個人	中之条	個人住宅建設	375	H28年8月8日～ H28年12月25日
31	金井東遺跡群	坂城町建設課	南条	下水管理設	1,000	H28年10月24日～ H29年3月10日
32	金井西遺跡群	坂城町建設課	南条	下水管理設	859	H28年10月24日～ H29年3月10日
33	四ツ屋遺跡群	個人	坂城	個人住宅建設	1,296	H28年12月5日～ H29年3月31日



立会い調査位置図 (1 : 25,000)

報 告 書 抄 録

ふりがな	さかきちょうないいせきはくつちょうさほうこくしょ
書名	坂城町内遺跡発掘調査報告書 2016
副書名	平成28年度試掘・立会い調査報告書
巻次	
シリーズ名	坂城町埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第48集
編著者名	時信 武史
編集機関	坂城町教育委員会
所在地	〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城6362-1 TEL 0268-82-1109
発行年月日	2017年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
かみこみょうじょうりすいでんし 上五明条里水田址24	さかきまちおおあざあみかけ 坂城町大字網掛	20521		36°27'04"	138°10'25"	2016年4月13日 2016年4月14日	266	砂利採取事業
かいぜいせき 開畝遺跡8	さかきまちおおあざなかのじょう 坂城町大字中之条	20521		36°27'05"	138°11'42"	2016年8月8日 2016年8月10日	235	駐車場造成事業
かみこみょうじょうりすいでんし 上五明条里水田址25	さかきまちおおあざかみこみょう 坂城町大字上五明	20521		36°27'03"	138°10'20"	2017年1月24日 2017年1月25日	237	砂利採取事業
かないひがしいせきぐん 金井東遺跡群2	さかきまちおおあざみなみじょう 坂城町大字南条	20521		36°26'03"	138°11'34"	2017年1月26日 2017年1月27日	48	児童館建設事業

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
上五明条里水田址24	水田址	平安～近世	なし	なし	
開畝遺跡8	集落址	弥生～平安	土坑	なし	
上五明条里水田址25	水田址	平安～近世	なし	なし	
金井東遺跡群2	集落址	縄文～平安	なし	なし	

坂城町埋蔵文化財調査報告書

『開畝製鉄遺跡—第1次調査報告書』		第26集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2005』	2006
『開畝製鉄遺跡—第2次調査報告書』		第27集	『込山遺跡群 込山C遺跡Ⅱ・Ⅲ』	2006
『東裏遺跡』		第28集	『込山遺跡群 込山D遺跡Ⅰ』	2007
『中之条遺跡群 宮上遺跡Ⅱ』(概報)		第29集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2006』	2007
『南条遺跡群 塚田遺跡』		第30集	『南条遺跡群 青木下遺跡Ⅱ・Ⅲ』	2007
第1集 『南条遺跡群 東裏遺跡Ⅱ・青木下遺跡』	1994	第31集	『開畝遺跡Ⅳ』	2008
第2集 『町内遺跡発掘調査報告書』	1994	第32集	『町横尾遺跡Ⅱ』	2008
第3集 『町内遺跡発掘調査報告書』	1995	第33集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2007』	2008
第4集 『南条遺跡群 塚田遺跡Ⅱ』	1995	第34集	『中之条遺跡群 上町遺跡Ⅳ・Ⅴ』	2009
第5集 『豊饒堂遺跡・上町遺跡・寺浦遺跡・東町遺跡』	1996	第35集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2008』	2009
第6集 『中之条遺跡群 寺浦遺跡Ⅱ』	1996	第36集	『中之条遺跡群 寺浦遺跡Ⅳ』	2010
第7集 『中之条遺跡群 上町遺跡Ⅱ』	1996	第37集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2009』	2010
第8集 『上五明条里水田址』	1996	第38集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2010』	2011
第9集 『町内遺跡発掘調査報告書1995』	1996	第39集	『町横尾遺跡Ⅲ』	2012
第10集 『坂城町試掘調査・立会い調査報告書』	1996	第40集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2011』	2012
第11集 『町内遺跡発掘調査報告書1996』	1997	第41集	『中之条遺跡群 寺浦遺跡Ⅴ』	2013
第12集 『戊久保・町横尾遺跡』	1998	第42集	『中之条遺跡群 山口遺跡Ⅰ』	2013
第13集 『込山Bほか 発掘調査報告書 1997』	1998	第43集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2012』	2013
第14集 『町内遺跡発掘調査報告書1998』	1999	第44集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2013』	2014
第15集 『町内遺跡発掘調査報告書1999』	2000	第45集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2014』	2015
第16集 『開畝遺跡Ⅲ』	2000	第46集	『金井東遺跡群 大木久保遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』	2016
第17集 『中之条遺跡群 北川原遺跡Ⅱ』	2001	第47集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2015』	2016
第18集 『町内遺跡発掘調査報告書2000』	2001	第48集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2016』(本書)	2017
第19集 『中之条遺跡群 宮上遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』	2001			
第20集 『金井東遺跡群 保地遺跡Ⅱ』	2002			
第21集 『町内遺跡発掘調査報告書2001』	2002			
第22集 『町内遺跡発掘調査報告書2002』	2003			
第23集 『豊饒堂遺跡Ⅲ』	2004			
第24集 『坂城町町内遺跡発掘調査報告書2003』	2004			
第25集 『坂城町内遺跡発掘調査報告書2004』	2005			

坂城町埋蔵文化財調査報告書第48集

坂城町内遺跡発掘調査報告書2016

発行日 2017年3月31日
編集者 坂城町教育委員会
〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城 6362-1
TEL 0268 (82) 1109
印刷者 信毎書籍印刷株式会社
〒381-0037 長野県長野市西和田1丁目30番3号